

10月手賀沼探鳥会

日時 2017.10.08 9:05~12:05

曇りのち晴れ 微風 20~26℃

サマータイムから通常に戻った今回は、季節外れの冷気が去り、3日ぶりの晴天は汗ばむほどの暖かで全くの探鳥日和の日になりました。

冬の手賀沼の使者カモたちが月初めの“カウント”で3桁に届いた直後で、やや不安があったが、予想通り、下沼ではヒドリガモ、マガモ、コガモの小群が飛来していた。まだ落ちつかない様子で彼岸付近で飛翔したり着水したりしていました。

探鳥道中、賑やかなのはモズの高鳴きが随所で聞かれました。また大津川のナガエツルノゲイトウの繁茂で水面は寂しかったが、ミサゴが雄姿を見せてくれました。葦の穂先の小型の鳥をノビタキかどうか図鑑片手に確認問答があり、背と頭の茶色、シルエット、腹の白さからノビタキと決めました。

冬鳥としては、今一で、ジョウビタキ、カワラヒワを認めるに留まりました。33名の参加で35種で、時期的には、まあまあの結果と云えると思いました。

<認めた鳥>キジ、コブハクチョウ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、オオバン、ミサゴ、トビ、ノスリ、カワセミ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、セッカ、ムクドリ、ジョウビタキ、ノビタキ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ 計35種 番外：カワラバト

<参加者> 計33名

(報告) 松本勝英